



平成27年5月 8日

各 位

会 社 名 サクサホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 越川 雅生
(コード番号 6675 東証第1部)
問合せ先 総務人事部長 井上 洋一
(TEL. 03-5791-5511)

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、平成27年度から29年度までの3か年を計画期間とする「中期経営計画」を策定しましたので、下記のとおりその概要をお知らせいたします。

記

1. 背景と基本方針

当企業グループは、平成25年9月から経営改善施策を実施した結果、為替変動に伴う輸入コストの増加等の影響はありましたが、平成27年3月期の実績は、売上高436億円、経常利益8億円となりました。

今後の当企業グループを取り巻く事業環境は、クラウド、IoT (Internet of Things) 等の普及に伴い、サービスの高度化や産業界のボーダレス化が進み、新たなネットワーク社会が形成されることが想定され、また、お客様が求める商品、サービスを提供するための技術および営業スタイルは、さらに大きな変化を迎えようとしております。

このような中で、当企業グループは、「持続成長可能な事業への転換」および「あるべき姿に向けた収益構造への変革」を中期経営計画の基本方針と位置付け、事業の拡大と経営基盤の強化に努めてまいります。

2. 目標

上記基本方針に沿った計画を着実に実行することで、平成29年度（平成30年3月期）までに連結売上高550億円以上、連結経常利益30億円以上を目標とし、早期にROE5%以上を目指してまいります。

3. 事業の拡大

当企業グループは、「持続成長可能な事業への転換」のために事業の集中と効率化を確実に実行し、収益拡大を推進してまいります。

特に、IPネットワーク技術（IP情報、通信、情報セキュリティ、IoT等）を各事業の共通コアコンピタンスと位置付けたうえで、これらを活用したソリューションおよびサービスを展開してまいります。

また、センシング技術や映像蓄積技術を活用したソリューションも合わせて展開してまいります。
さらに、業界を超えた協業等で、事業の拡大を推進してまいります。

(1) 集中事業

① オフィス市場向けの製品、サービス提供

通信インフラの高度化と急激な市場環境変化に追従するため、従来のキーテレホン製品展開からIP・ネットワーク製品およびこれらを活用したサービスへ事業をシフトするとともに、ストックビジネスを確立させることで、事業領域の拡大と事業転換を推進し、当事業の成長基盤を構築してまいります。

② アミューズメント市場向けの製品、サービス提供

お客様戦略に基づいた製品のタイムリーな提供に加え、機器売りからサービス売りへ営業スタイルを変革することで事業付加価値を高め、安定した収益を確保し、当事業基盤を強化いたします。

③ システムインテグレーション事業

VoIP (Voice over IP) ソリューションおよびデータ連携ソリューションの取り組みならびにパートナー企業との協業でシステムインテグレーション事業の拡大を加速してまいります。

なお、その一環として、平成27年4月1日付で当企業グループ内にサクサシステムアメリカン株式会社を設立いたしました。

(2) 効率化事業

収益が確保できる事業運営を推進することを目的に、各事業が属する市場の将来性と収益性を見極めたうえで、事業構造に見合った経営資源の最適化を図ってまいります。

(3) グローバル展開

当企業グループが保有する商材・技術を有効活用することで、欧州、米州へは、法制化の動きに伴い需要が高まる光火災警報装置を投入、また、カンボジアを始めとしたアジア諸国へは、セキュリティ製品を中心に国内外企業との協業を進め、それぞれ事業拡大を目指してまいります。

(4) EMSおよびDMSの拡大

当企業グループが保有する生産機能を有効かつ最大限に活用し、生産機能を有しない企業への機能サポートと加工受託領域の拡大を図ってまいります。

4. 経営基盤の強化

当企業グループは、「あるべき姿に向けた収益構造への変革」のために経営基盤の強化に取り組んでまいります。

(1) グループ機能の最適化

① グループガバナンスの強化とスピードある事業推進体制の確立

平成27年4月1日付で、当企業グループのグループ経営および事業戦略機能（グループガバナンス機能）をサクサホールディングス株式会社に集中するとともに、事業推進責任を明確にしたグループ体制に再構築し、グループガバナンスの強化とスピードある事業推進を確立してまいります。

② グループ内生産戦略機能の強化

平成27年4月1日付で、当企業グループのグループ内生産戦略機能をマザー工場であるサクサテクノ株式会社に集中させ、為替変動等に対応した国内外生産マップの見直しなど、生産体制の最適化を進めるとともに資材調達機能を強化することで外部流出費用の削減を進め、収

益力を強化してまいります。

さらに、サプライチェーンマネジメントを強化し、開発－調達－生産－販売－保守までの各プロセスにおける一貫したトータルコストダウンを継続して推進してまいります。

③ 販売、保守サービス業務の一元化に伴う業務の効率化

平成27年8月1日付で、サクサブブランドのセキュリティ製品の国内販売窓口業務を同製品の工事および保守サービスを担っているサクサビジネスシステム株式会社に移管し、販売および保守サービス業務を一元化して、より柔軟で機動的にお客様のご要請にお応えしてまいります。

(2) 財務体質の強化

企業価値向上のため、資本効率を高めるとともに、開発および投資の効率向上ならびにサプライチェーンマネジメントを強化し、棚卸資産の圧縮や保有資産などの見直しを推進することで、資産効率の向上を図ってまいります。

また、グループ内の資金活用による有利子負債の圧縮など資金効率を高めてまいります。

(3) 要員の適正化

事業構造の変化に対応する人材の質的転換と適正な要員体制とするため、人材の育成強化を図るとともに、人事諸制度を活用して、要員の適正化を進めてまいります。

※今後の見通し

当リリースに掲載されている予想や見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約することや保証するものではありません。実際の業績は、今後のさまざまな要因により計画数値と異なる場合があることをご留意ください。

なお、本中期経営計画の実施内容については、本日公表しました平成28年3月期の連結業績予想に反映しております。

以上